

5. 地域医療教育研究推進プログラム

事業参画大学間の連携プログラムとして実施したものには【連携】を付した。各プログラムの成果については、実施大学のホームページ等に詳細が記載されている。なお、プログラム名に（*）を付したものについては別添の資料が提出されている。これらについては、本事業のホームページの資料あるいは各実施大学のホームページ等でご参照いただきたい。また、参画大学からの事業報告の中で、本事業の主な5つのアドバンスト教育研究プログラムとしても報告があるものについては、プログラム名と簡単な概要を取り上げた。

【2020年（令和2年）度】

1) 学部生、大学院生を対象としたプログラム

<富山大学>

○ 高齢化した地域医療を個別化医療で支えることができる高度薬剤師養成コース

【連携】

- ・学部生及び大学院生を対象として、日本の平均より15年先行して高齢化を迎えている北信地域において、在宅医療やゲノム医療による個別化したがん治療の演習や実習を実施した。
- ・一部、金沢大学と単位互換制度をとっている。

<名古屋市立大学>

○ コミュニティヘルスケア卒前教育プログラム

- ・学部生を対象として、医療系学部（薬学部・医学部・看護学部）連携教育プログラムを実施した。

<九州大学>

○ 九州地区国立大学法人3大学合同シンポジウム 【連携】

- ・学部生、大学院生及び社会人を対象として、地域医療に関する研修や先進的な地域医療インターンシップ等を開発・実施するために、九州地区の九州大学、熊本大学、長崎大学で合同シンポジウムを開催した。
- ・各大学の地域医療における取り組みについて情報共有や討議を行い、社会のニーズに応える高度な地域医療を担うことができる高度先導的薬剤師の養成を図った。

<熊本大学>

○ 熊本県合志市研修

- ・大学院生を対象として、熊本県合志市にて展開している熊本大学、株式会社ルネサ

ンス、日本ユニシス株式会社との産官学連携事業（合志市の地域住民の健康づくりと地域活性化のためのサービス提供）に関する研修を実施した。

2) その他（大学としての取組等）

<千葉大学>

○ 実践社会薬学の確立と発展に資する薬剤師養成プログラム

- ・平成24年度～28年度文科省「大学間連携共同教育推進事業」選定取組として実施していたプログラムを継続して実施した。千葉県内3薬科大学が特徴的に有する教育プログラムを相互に受講できるプログラムである。

<金沢大学>

○ 超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成：北信がんプロ【連携】

- ・大学院生を対象として、文部科学省の大学間連携による「がん医療人材養成拠点」において、各大学の特色を生かした教育プログラムを構築し、がん医療の新たなニーズに対応できる優れた「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」の養成を図った。
- ・我が国におけるがん医療の推進を目的としており、国公立の7大学（金沢大、富山大、福井大、信州大、金沢医大、石川看護大）で県の枠を超えた北信地域での戦略的がん医療人育成システムの構築を目指すものである。
- ・薬学系では、大学院生・薬剤師を対象とした教育プログラムを実施した。